

京都市のごみ収集業務に関するアンケート調査結果について

第1 調査概要や調査結果
別紙1のとおり

第2 調査結果の分析等

1 収集作業の評価に係る項目について

- 「きれいな収集作業」、「危険のない収集作業」等については、これまでから高い評価をいただいております、維持できている。
- 「ごみ収集車の運転」については、安全運転に係る研修の実施やデジタルタコグラフの導入、「カラスネットの片付け」については、収集業務に支障のない範囲でできる限り丁寧に実施するよう指導していることの結果が現れてきたことから、近年高い評価をいただいているものと考えます。

【関連する質問項目】

質問 4	お住まいの地域の家庭ごみ収集作業は、ごみの散乱などもなく、きれいに収集ができていますか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">できている・おおむねできている</div> ⇒ 98% ※ 21年度からすでに高水準により推移
質問 7	収集作業中に、ごみが飛び散るなどして他の車両や歩行者の通行の妨げになったり、危険と感じたことはありますか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">ない・ほとんどない</div> ⇒ 86% ※ 21年度からすでに高水準により推移
質問 8	収集作業の丁寧さについて、どのように感じますか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">良い・おおむね良い</div> ⇒ 82%
質問 9	京都市のごみ収集車の運転について、スピードの出し過ぎ、無理な車線変更、マナーの悪い運転等を見たことがありますか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">ない・ほとんどない</div> ⇒ 75% ※ 21年度から顕著に向上（とりわけ24年度から25年度にかけて10%近く向上）
質問 11-2	カラスネットがごみ袋にかぶせてある場合、作業員は収集後、ネットが歩行者や自転車の通行の妨げとならないよう、片付けることができますか。 <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px;">できている・おおむねできている</div> ⇒ 80% ※ 21年度から顕著に向上

質問15	京都市のごみ収集車による収集全般について満足されていますか。 満足している・おおむね満足している ⇒ 93%
------	---

2 市民のごみ排出のマナーや分別の状況について

- 依然として、分別に係る意識が低いこと、情報が不十分なこと等に起因する不適正排出が散見される。
また、ごみの排出で困っていることにおいては「分別方法が分からない」ことを、減量や分別・リサイクルにおいて知りたいことにおいては「分別の方法」を挙げられた方が多かった。
- 本市の職員、とりわけごみの収集・分別に関する知識を持つまち美化事務所の職員のマンパワーを最大限に活用して、これまで以上に地域へ積極的にアプローチし、啓発・指導を行っていく必要がある。
- 情報の収集源として、市民しんぶんや京都市の作成するチラシを利用されている方が多いため、配布方法や内容の工夫についても検討していく。

【関連する質問項目】

質問 5-2	収集日の夕方（午後4時ごろ）以降に、ごみが残っていた理由 収集できないものの排出 ⇒ 50% 収集後の排出 ⇒ 20% 分別が不十分 ⇒ 18%
質問 6	ごみの排出場所で不適正なごみの排出を見かけたことがありますか。 たびたび見かける・見かけたことがある ⇒ 49%
質問 14	ごみの排出に関して困っていることはどのようなことですか。 猫やカラス等による散乱 ⇒ 20% 分別方法について分からないものがある ⇒ 19% ※ 困っているとした回答の中で2番目に多い。
質問 21	京都市のごみの減量や分別、リサイクルに関する情報をどこから得ていますか。 市民しんぶん、京都市が作成するチラシ ⇒ 54%
質問 22	ごみの減量や分別、リサイクルについて知りたい情報はどのようなことですか。 ごみの分別方法 ⇒ 24% ※ 回答の中で最も多い。

3 資源物のリサイクルの状況等について

- 雑がみ、古着類のリサイクル等については、まだ市民に広く浸透していないのが実情である。
- 燃やすごみの更なる減量や資源の有効利用のため、周知・啓発の更なる強化を図るほか、市民にとって利便性の高い身近な場所での回収など新たな施策を展開していく必要がある。

【関連する質問項目】

質問16	使用済てんぷら油の回収を、スーパーや地域の回収拠点などで行っていますがご存じですか。 知っているが、利用していない ⇒ 57%
質問16-2	使用済てんぷら油の回収を、利用されていない理由は何ですか。 回収拠点が近所がないから ⇒ 23% 回収日時と時間が合わないから ⇒ 12% 容器ごと回収してもらえないから ⇒ 7%
質問18	雑がみ（お菓子の箱、パンフレット、包装紙、紙袋など）は、普段分別されていますか。 分別していない ⇒ 34%
質問18-2	雑がみを分別していない理由は何ですか。 リサイクルできることを知らない・分類がよく分からない ⇒ 52%
質問19	古着類はどのように排出していますか。 燃やすごみとして出している ⇒ 40%

4 エコまちステーションの認知度

エコまちステーションの認知度は着実に上がっており、また、利用してみたいと考えている方も多い。

【関連する質問項目】

質問13	エコまちステーションの主な業務は以下のとおりですが、これらの業務を行っていることについて、ご存知ですか。 知っている ⇒ 47% ※ 22年度から顕著に向上 利用したことがある・利用してみたい ⇒ 42%
------	---

5 地域で自主的に行われているごみの減量や分別・リサイクルを目的とした活動や取組への参加

- 活動や取組へ参加されていない方がまだまだ多いのが実情である。
- 「身近な場所で行われている」などにより参加は増えると考えておられる方も多く、今後、コミュニティ回収が行われていない町内会への実施の働きかけ、実施内容の充実や世帯数増加の働きかけを行っていくことが重要である。

【関連する質問項目】

質問24	お住まいの地域で、自主的に行われているごみの減量や分別、リサイクルを目的とした活動や取組に参加していますか。 参加していない ⇒ 70%
質問 24 - 3	どのようなことがあれば、お住まいの地域でのごみの減量や分別、リサイクルを目的とした活動や取組に参加したい、参加できると思いますか。 <div style="margin-left: 40px;"> 身近な場所で行われている ⇒ 24% 気軽に参加できる雰囲気である ⇒ 16% 参加するきっかけや機会がある ⇒ 20% </div>

6 京都市のごみ収集や分別に係る市民の要望について

- 市民の要望があったうち、最も多かったのは、早い時間帯に収集を終わらせてほしいということであり、現行の人員・機材の中で、できる限り努めていく。
- その他では、回収拠点や回数に係る要望であり、更なる利便性の向上について検討する必要がある。

【関連する質問項目】

質問25	京都市のごみの収集や分別などについて、希望することは何ですか。 <div style="margin-left: 40px;"> 早い時間帯に収集を終わらせてほしい ⇒ 18% ※ 回答の中で最も多い。 回収拠点を増やしたり、回数を増やしたりしてほしい ⇒ 12% </div>
------	--